

2025.12.04



自己紹介



丸野 正
代表取締役社長

1983年 入社 システム事業部 配属

- 設計開発・企画部署配属
- 画像計測機器の設計開発担当
人間の目に見えない対象物を画像化
- 35歳～50歳
15年間、1年の半分は欧米で過ごす
世界1周を年間10周

2017年 取締役
システム事業部 事業部長

2022年 代表取締役社長
社長執行役員



科学計測用高感度カメラ ORCA-Quest



病理スライドスキャナ NanoZoomer

本日の内容

1. 会社概要
2. 中期計画
3. 財務戦略・株主還元

本日の内容

1. 会社概要
2. 中期計画
3. 財務戦略・株主還元

浜松ホトニクス コンセプトムービー

光技術の研究と開発に挑み続けてきた歩み



浜松ホトニクス 概要 (2025 年 9 月期)

設立

1953 年
9月29日



連結売上高

2,120 億円



親会社株主に帰属する当期純利益

142 億円



海外売上高比率

77.4 %



欧州23.4 %、北米24.2 %、
アジア29.7 %、日本22.6 %

連結従業員数

6,601 名



海外拠点数

29 カ所



欧州・中東・アフリカ16カ所、アメリカ4カ所、アジア9カ所



日本のテレビの父
高柳健次郎博士の「未知」を追い求める精神

女神の前髪を掴め

- ・先回りをする事
- ・人のまねをしないこと



できないと言わずやってみろ

- ・自主性を重んじる
- ・チャレンジ精神を重んじる
- ・失敗を許容する



ブラウン管に映し出された「イ」の字
(写真は再現装置によるもの)



※イメージ

光を使って未知未踏領域を開拓することで
人類にとって役に立ち
生き様を変えるような新しい産業を創成する

PET研究

ニュートリノ検出

レーザフュージョン

ノーベル賞受賞研究への貢献



2002年
小柴昌俊先生

写真提供: 中日新聞



2015年
梶田隆章先生

超新星爆発ニュートリノ観測成功

ニュートリノ振動発見

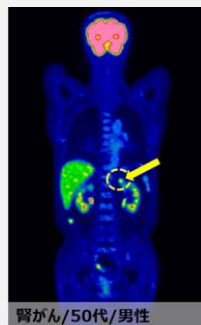
研究者の熱意と当社の技術無しでは受賞できなかった

PET研究

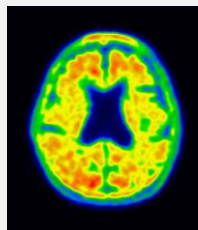
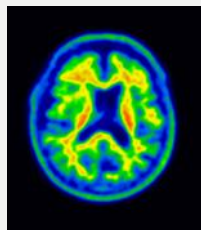
がんやアルツハイマー病の早期発見に貢献



がん検査



アルツハイマー病検査



40歳以上の従業員が対象
PET検診の受診は任意

比較項目	非受診群	受診群
	法定健診のみ	法定健診+PET検診
人数	4,350人	4,933人
がん発生数(率)	43例(1.0%)	62例(1.3%)
がん死亡者数	10人	3人
がん致死率	23.3%	4.8%
医療費	567万円	297万円
通院日数	49日	38日
入院日数	43日	20日

医療費・通院日数・入院日数は1人当たりの平均

集計対象

受診期間: 2009/11/1~2019/10/31

集計期間: 2009/11/1~2021/10/31

浜松PET診断センター提供

レーザフュージョンの取組み

大出力レーザ自社開発・自社施設でレーザフュージョン研究
世界唯一の民間企業

城内 実 日本成長戦略担当／内閣府特命担当大臣ご視察
2025/9/8



浜松ホトニクスの強み

多様な業界に
”必要不可欠”な光技術を提供する
スーパーニッチ企業

Partnership
各業界のリーディングカンパニー

—
最新の市場要求を踏まえた
製品開発の推進

次世代技術の共同開発



浜松ホトニクスが強み

多様な業界に
”必要不可欠”な光技術を提供する
スーパーニッチ企業

Partnership
各業界のリーディングカンパニー

最新の市場要求を踏まえた
製品開発の推進

次世代技術の共同開発

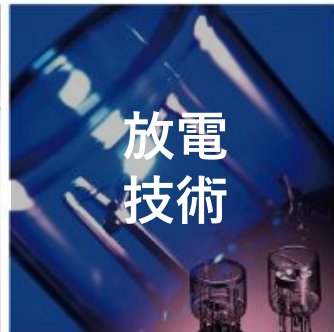


浜松ホトニクスの光技術

コンセプト

- ・ 社内に多様な光技術を保有
- ・ 自社ファブを活用した柔軟なカスタム化
- ・ 優位性ある新規デバイスを高付加価値モジュールとして提供

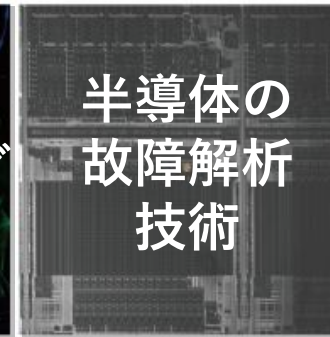
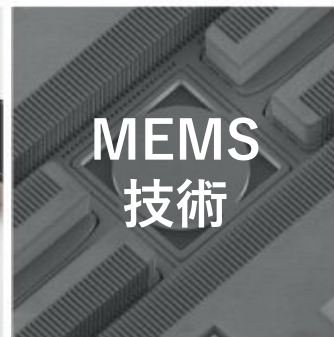
電子管事業



レーザ事業



VALUE



光半導体事業

画像計測機器事業

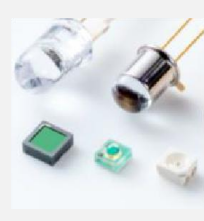
社内の要素技術を連携させた製品開発

発光と受光の両方の技術をもつ世界で限られた企業

光源・発光素子



ランプ



LED



LD

NKT
Photonics
レーザ光源



光伝送

光増幅

ファイバ光学素子

受光素子



光電子増倍管

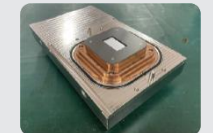
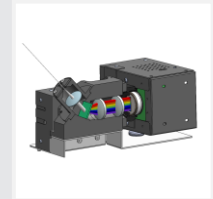


光半導体



2次元
イメージャ

計測モジュール (高付加価値化)

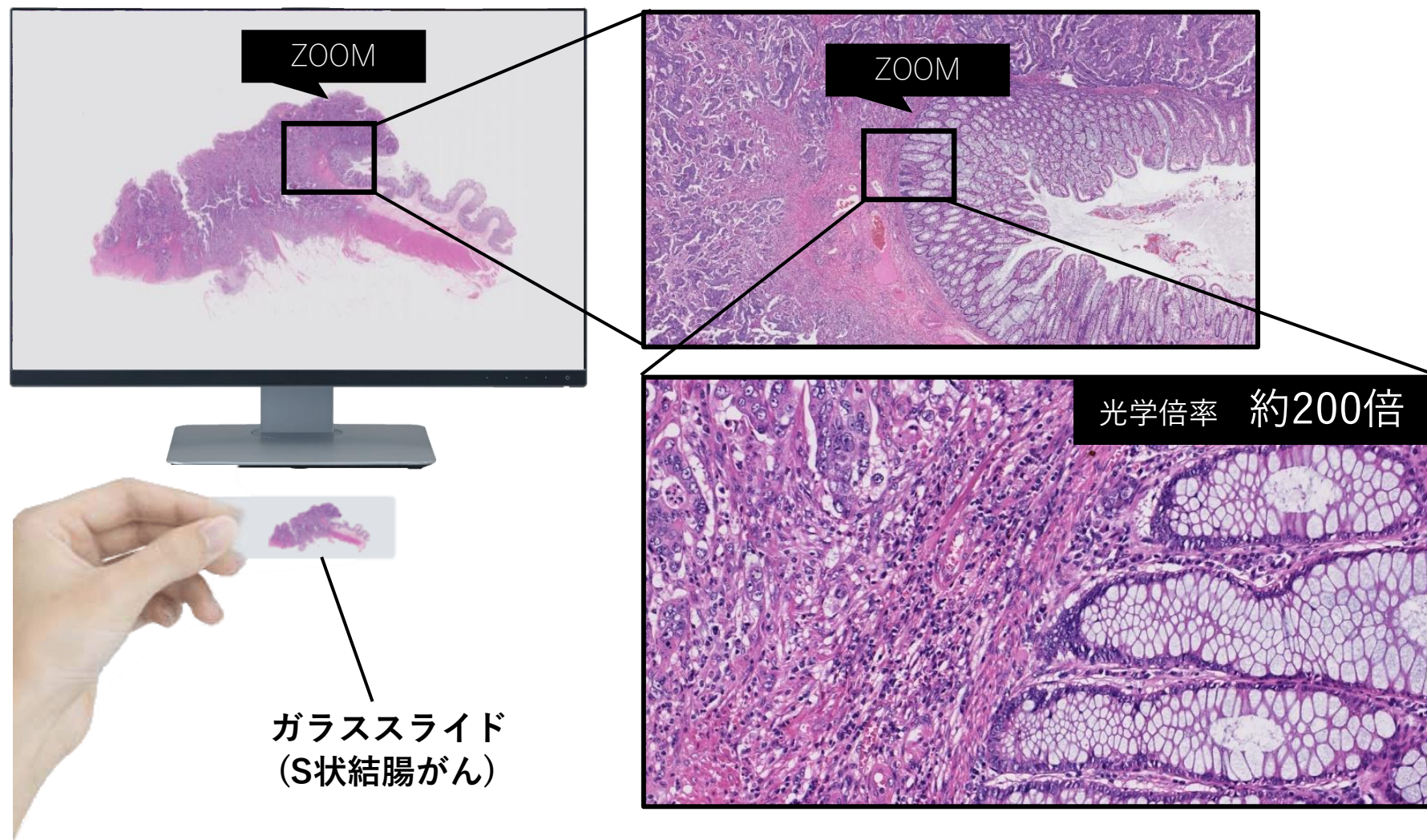


社内の要素技術を連携させた製品開発

| 光技術を応用したシステム製品の展開によって、さらなる付加価値を創出



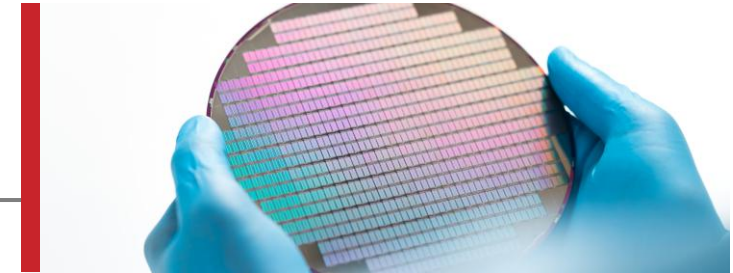
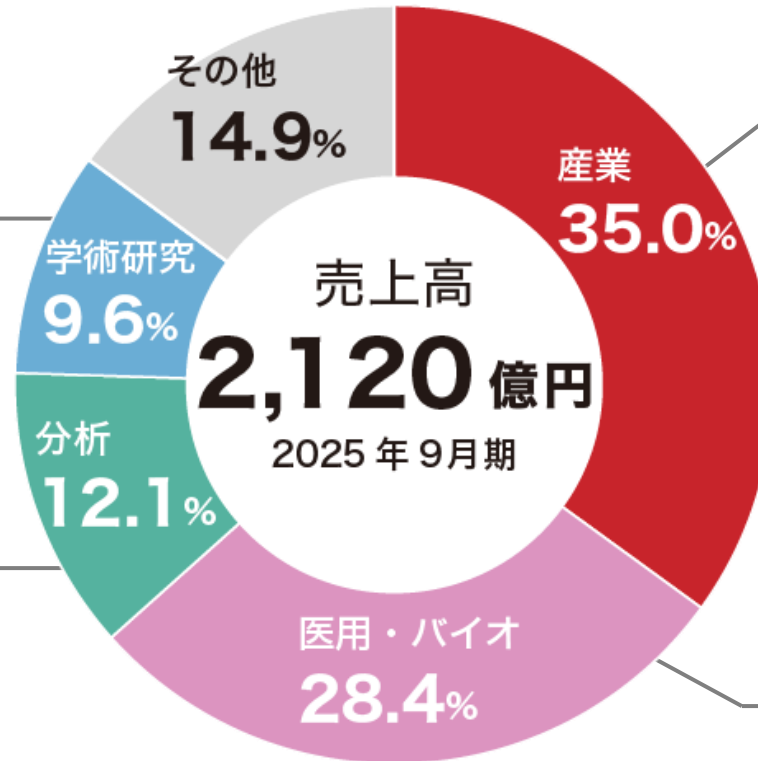
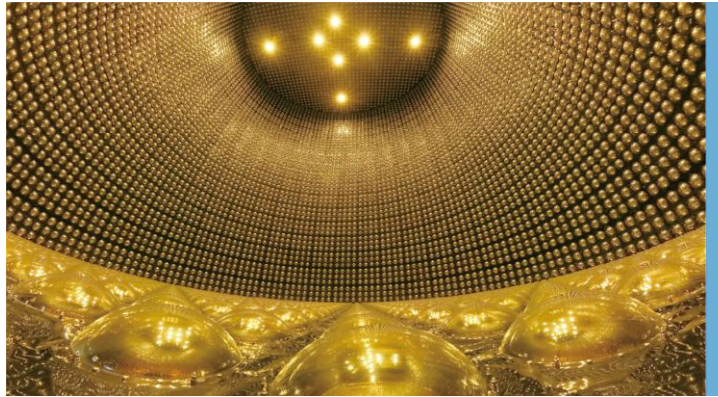
販売実績3000台以上
欧米・中国など各国の医
療機器規制に準拠



業界別売上高

幅広い業界で活用され、さまざまな分野の発展に貢献

- カミオカンデ/スーパーカミオカンデ
- 量子コンピュータ



- 半導体製造/検査
- FA機器
- 電子部品検査
- 手荷物検査
- 食品検査



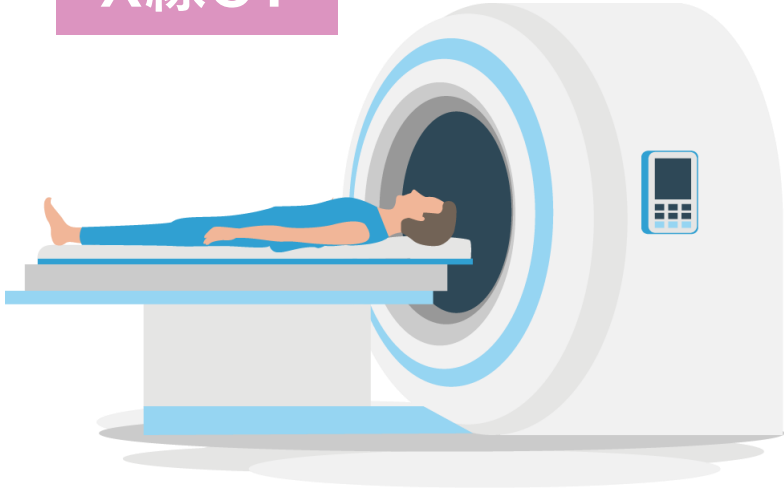
- X線CT
- 血液検査
- PET診断
- 眼科治療
- 歯科診断
- がん組織観察



- 質量分析
- 水質検査

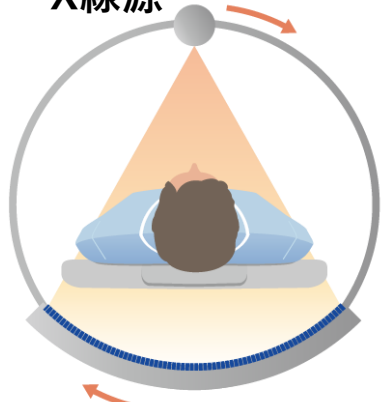
業界別売上高

X線CT

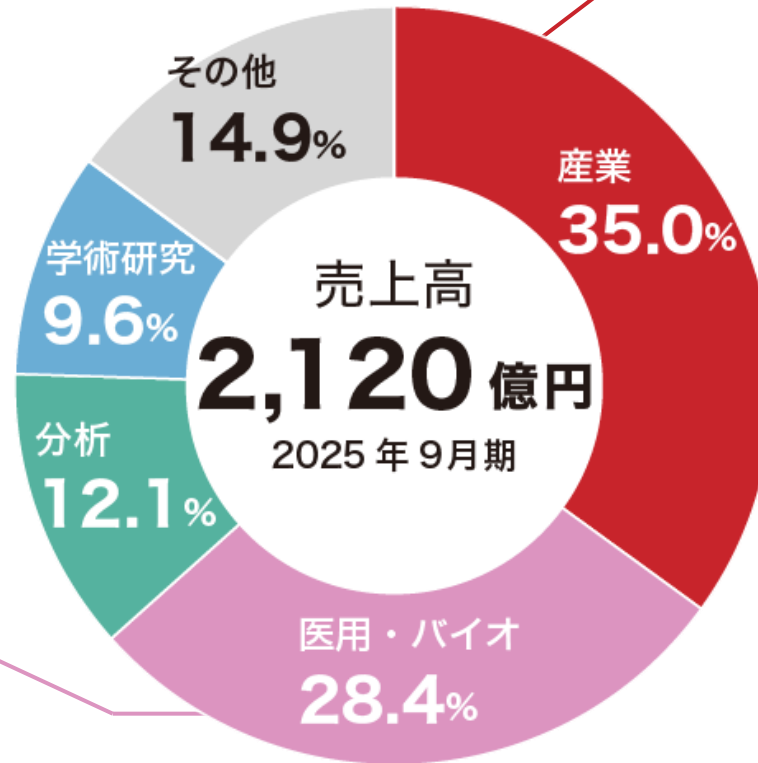


■ 検出部の構成

X線源

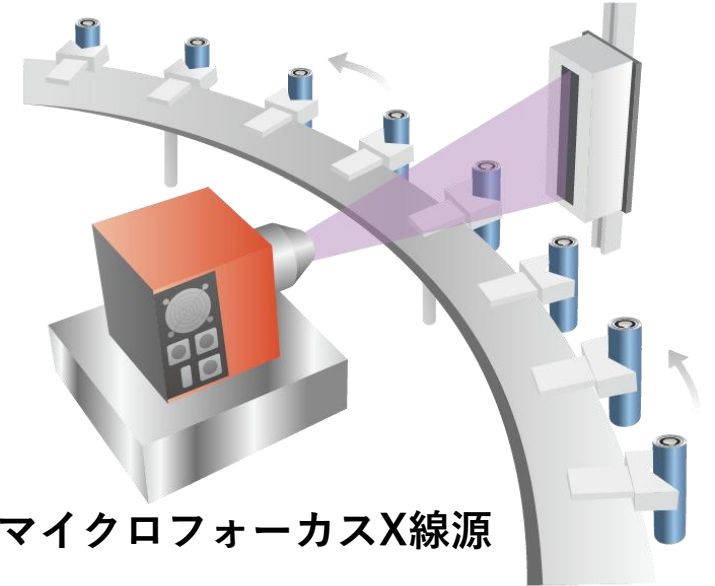


検出器



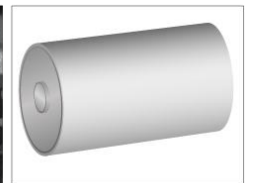
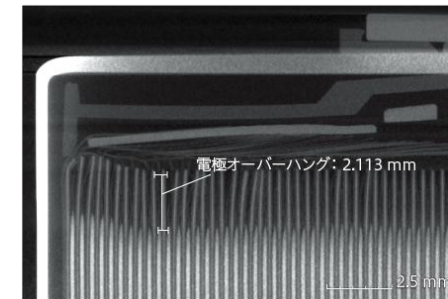
非破壊バッテリー検査

X線TDIカメラ



マイクロフォーカスX線源

■ 車載用筒形LiB

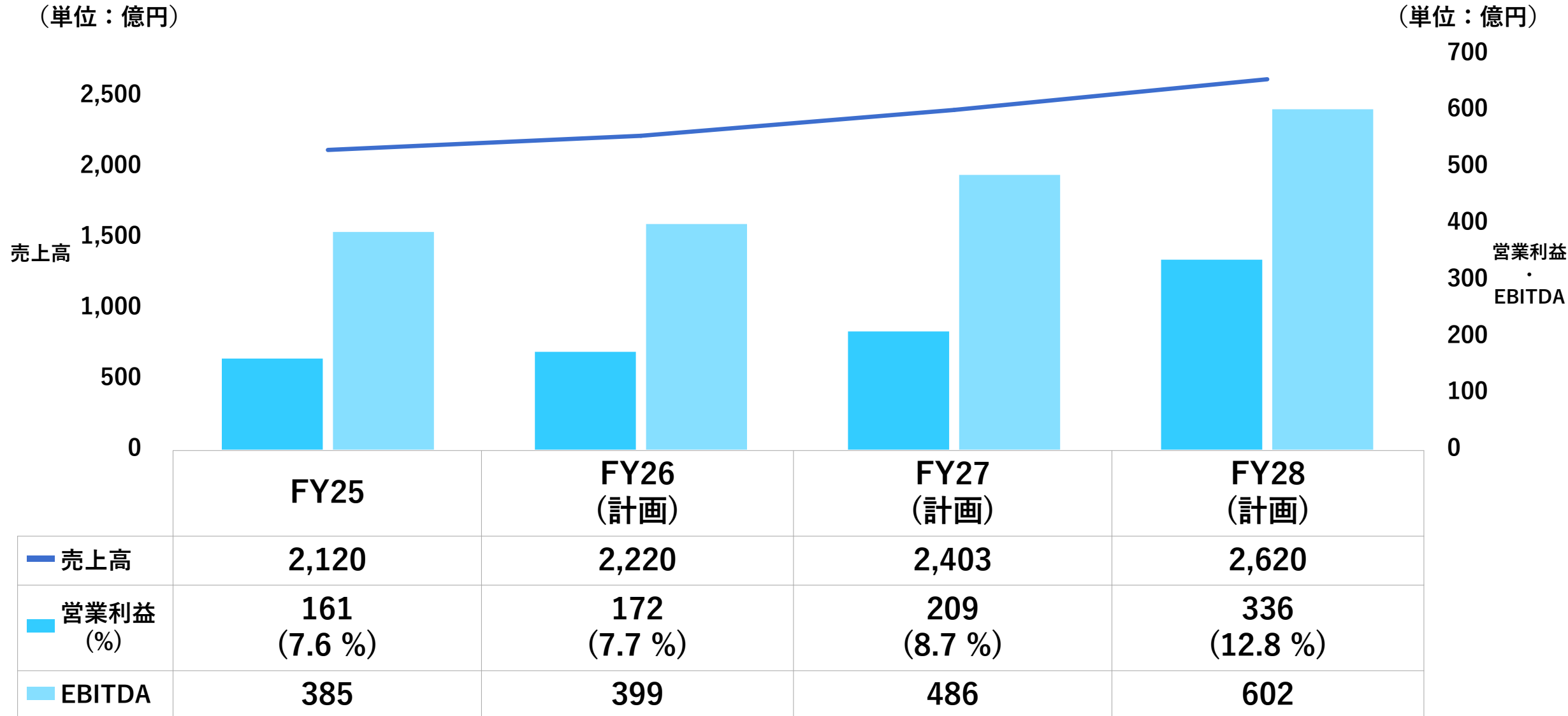


管電圧: 180 kV
幾何学倍率: 約3.5倍

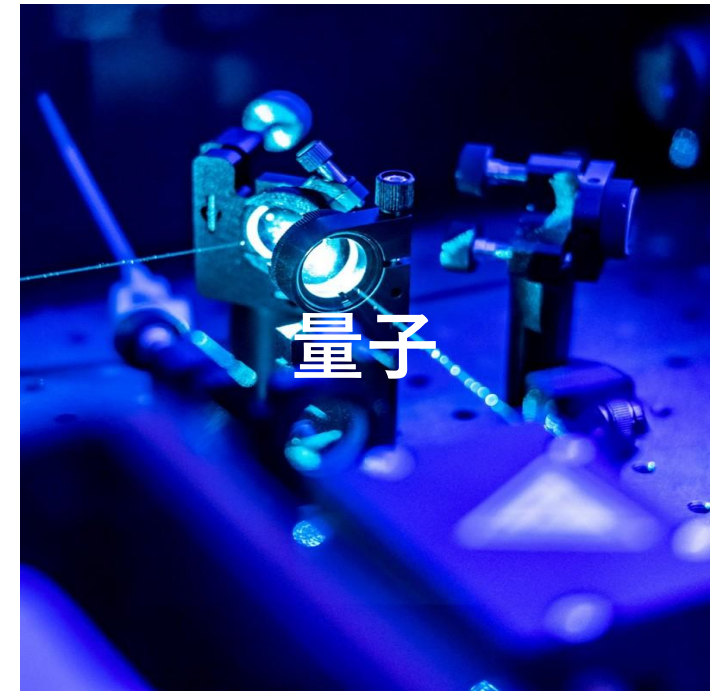
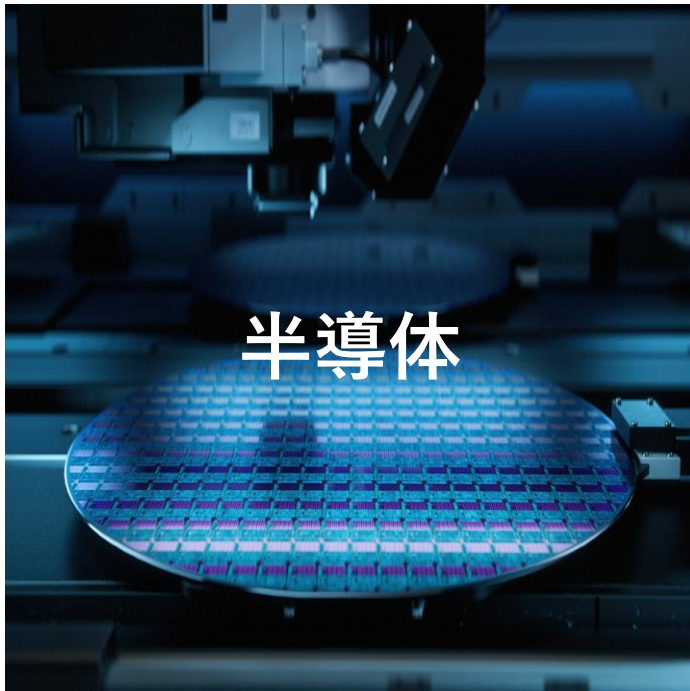
本日の内容

1. 会社概要
2. 中期計画
3. 財務戦略・株主還元

中期計画

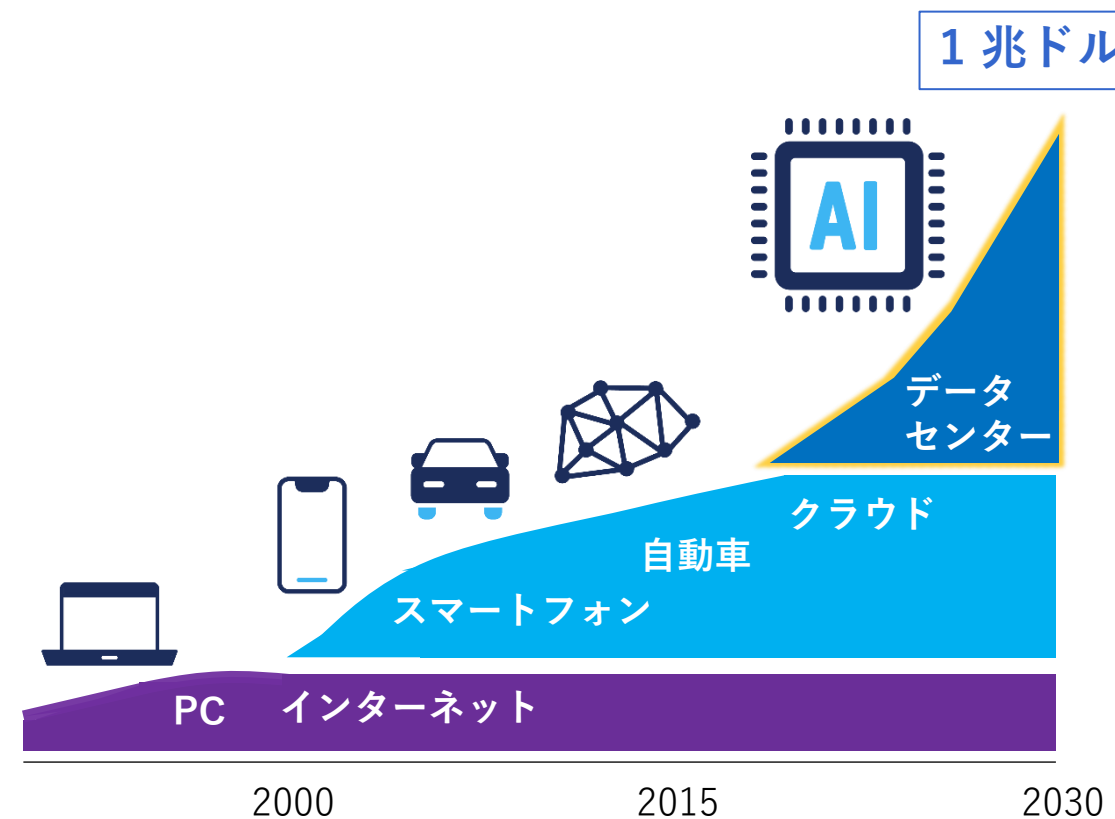


重点市場



半導体

AIが牽引し2030年に1兆ドル規模へ



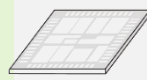
半導体工程で使用する当社製品

主要な半導体製造装置・検査装置で使用する高シェア製品



回路設計
パターン設計

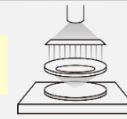
フォトマスク
作成



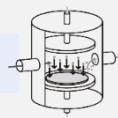
洗浄

フォトレジスト
塗布

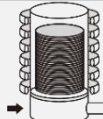
露光、現像



エッチング



酸化
拡散
成膜



スパッタリング

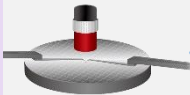
前工程

イオン
注入

後工程

前工程

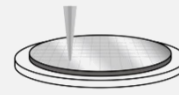
故障
解析



モールドイング

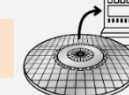
ボンディング

ウエハ
ダイシング



ウエハ
グラインド

ウエハ検査



ウエハテスト

発光・発熱検出
半導体
故障解析装置

Top share



ステルスダイシング

Top share

レーザ
エンジン



TDI-CCD

Top share



キセノン
ランプ

High share



光電子
増倍管

Top share



開発中

自動発光・発熱検出
半導体故障解析装置



半導体市場における当社ポジションと貢献

課題・ニーズ

高速・高感度
検査と計測

歩留まり改善
故障解析

半導体
デバイス
メーカー

半導体
検査/製造
装置メーカー

レーザダイシング技術

レーザ
ダイシング
エンジン

先端半導体技術情報

半導体故障解析

高付加価値製品、ソリューション

光検出器

シンチレータ

光電子増倍管

TDI-CCD
イメージセンサ

デバイス

電子線

X線

EUV

VUV

DUV

赤外線

光源

EUV光源

キセノンランプ

プラズマ光源

レーザ光源

開発中

低ノイズ、高速、高感度、大型の
カスタムTDI-CCDイメージセンサ

開発中

VUV(真空紫外)～赤外の広帯域
スペクトルを発する高輝度光源

開発中

ロジック、DRAM用レーザダイシングエンジン
物理解析用 故障箇所加工エンジン

新しいトレンド・大きなポテンシャル

開発中

試作ラインでのウェーハ全数検査
量産ラインで発生する不良チップ故障解析の全自動化

半導体
故障解析装置

積層化に伴う複雑化により中間工程の重要性UP

前工程

後工程

中間工程

ウェーハエッジ加工

ウェーハ研磨

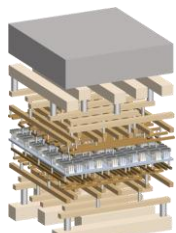
ウェーハテスト

ダイシング前処理

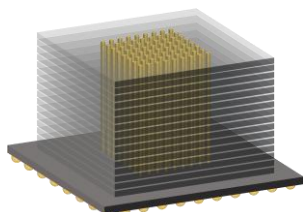
ダイシング

製品検査

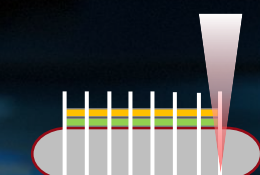
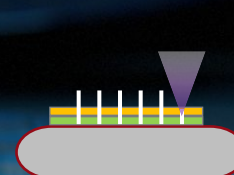
複雑化する
先端ロジック・
メモリ構造



BS-PDN



HBM



新規ビジネス領域の開発

ウェーハエッジ
トリミング用
レーザーエンジン



JIZAI™

開発中

自動
発熱発光検出
故障箇所特定



開発中

故障箇所
物理解析
前処理



Origami



開発中

半導体
微細加工用
フェムト秒レーザー



aeroPuls



開発中

既存ビジネス領域

ステルス
ダイシング(SD)
エンジン



半導体
故障解析装置



欧州で増加するドローン飛来

スウェーデン：ドローン飛来で空港が一時閉鎖（2025年9月8日）

ポーランド：ロシア軍のドローンが領空を侵犯（2025年9月9日）

デンマーク：ドローン飛来で空港が一時閉鎖（2025年9月22日）

ノルウェー：空港周辺にドローン飛来（2025年9月22日）

デンマーク：ドローン飛来で空港が一時閉鎖（2025年9月24日）

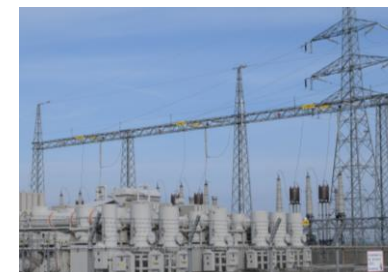
ドイツ：ドローン目撃で空港が一時閉鎖（2025年10月2日）

セキュリティ

重要インフラ施設の防御必要性



空港



発電所・変電所



港



イベント会場

NKT Photonics社 (2024年5月 子会社化)

ドローンを無効化するkWファイバーレーザーと
ドローン検知用イルミネーションレーザーを開発、製造



Rheinmetall社 (主要顧客) のプレスリリース

- 2019年9月11日： NKT Photonics社製ファイバレーザー12台をスペクトル結合した20kWレーザーのテストに成功
- 2025年10月28日： レーザシステムが1年間の海上試験をクリア。2029年から運用可能の見込み



Rheinmetall



Rheinmetall

量子

量子コンピュータ市場で 多くの企業が資金調達を実施し開発を加速



IonQ社：約20億米ドルを調達（2025年10月）

Quantinuum社：約6億米ドルを調達（2025年9月）

QuEra社：2億3,000万米ドルを調達（2025年2月）

光を使用する量子コンピュータで、
高性能・高信頼性の**当社レーザ光源、変調器、検出器**が幅広く採用

「イオントラップ方式」「中性原子方式」「光量子方式」の**複数方式**において採用



単一周波数ファイバレーザ
Koherasシリーズ



LCOS-SLM
(空間光位相変調器)



ORCA-Quest® 2
qCMOS® カメラ

NEDO（国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構） 公募「量子コンピュータの産業化に向けた開発の加速」に採択

事業テーマ：「量子コンピュータの産業化に向けた光部素材技術の開発」

採択形態：一社単独で採択

助成金額：約30億円

開発を加速

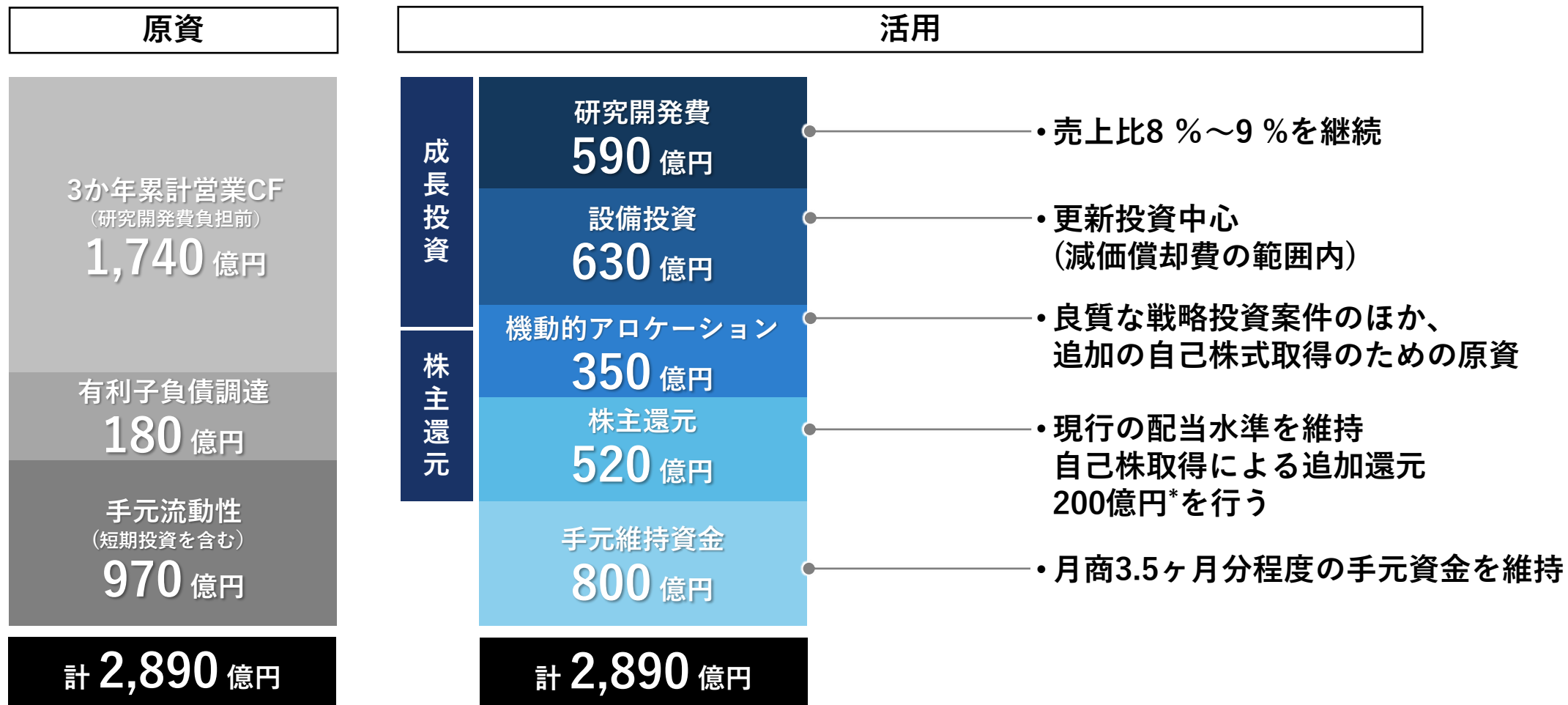
- ・ 大規模計算化・計算エラー訂正に必要な超高速カメラ、多画素・高感度カメラ、多画素空間光変調器の開発に着手
- ・ 量子ビット高信頼性と長期安定動作に必要なレーザ安定化技術
- ・ 量子ビット数増大と操作精度向上のためのハイパワー・低ノイズレーザ光源
- ・ 高性能・省スペース化をキーワードにラックモジュール化を推進

本日の内容

1. 会社概要
2. 中期計画
3. 財務戦略・株主還元

キャピタルアロケーション

2026年9月期～2028年9月期

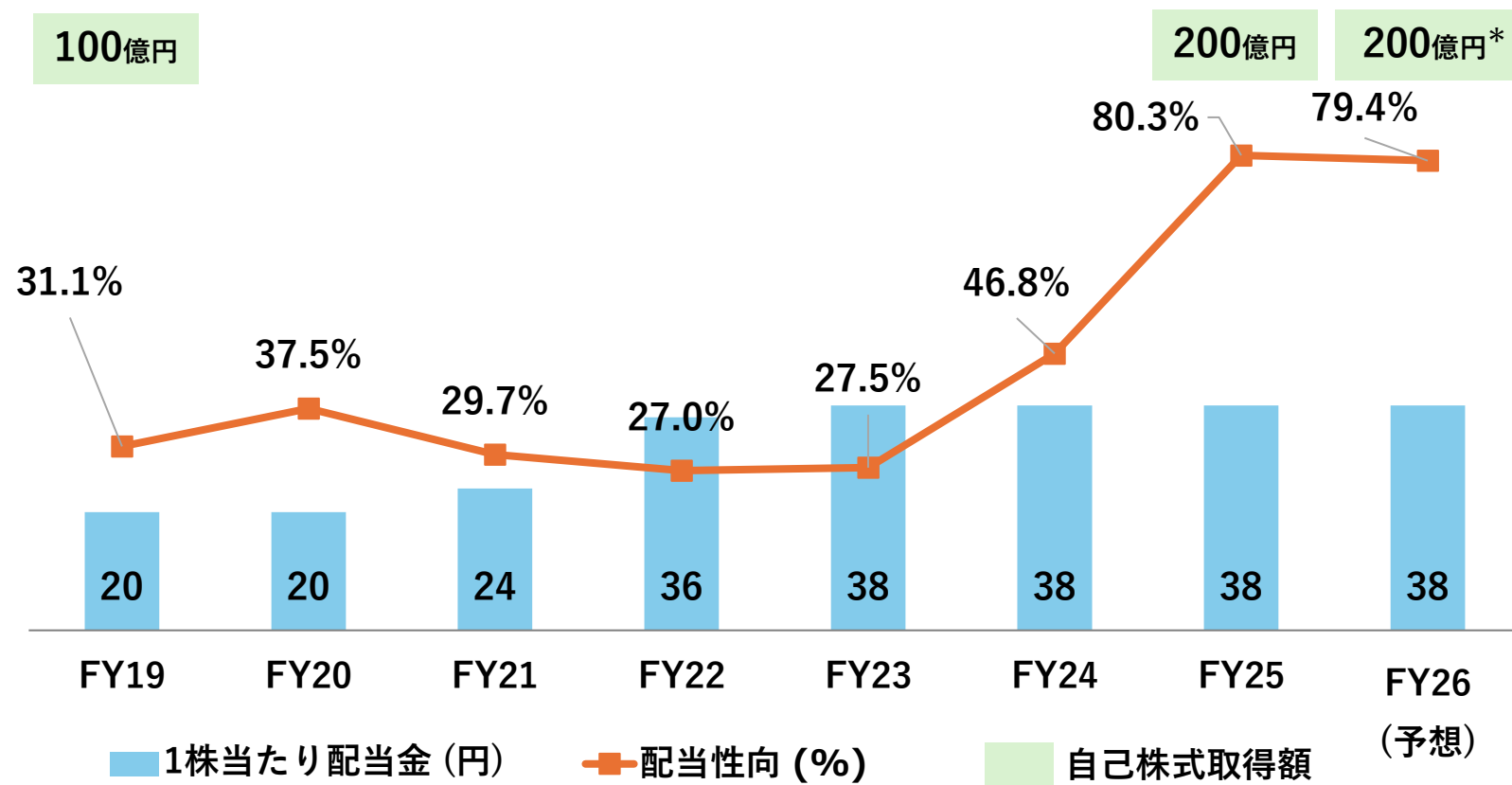


*2025年11月7日開示

取得期間：2025年11月10日～2026年9月30日、取得株数（上限）：1,500万株（自己株式除く発行済株式総数に対する割合 5.02 %）、
取得金額（上限）：200億円、取得方法：東京証券取引所における市場買付

株主還元

安定配当を基本とし、適宜自社株買いも検討



配当方針

【基本方針】
配当性向 30 % 目途

【下限方針】
DOE 3.5 %

*2025年11月7日開示

取得期間：2025年11月10日～2026年9月30日、取得株数（上限）：1,500万株（自己株式除く発行済株式総数に対する割合 5.02 %）、
取得金額（上限）：200億円、取得方法：東京証券取引所における市場買付

www.hamamatsu.com